

国産メンマで社会貢献プロジェクト事業 < 5つ (T. S. G. J. N) の目標達成を目指す! >

T. S. G. J. N (ティーエスコージャン)

1. 竹に携わる意義：
- ①日本の山を守る
 - ②日本の雇用を守る
 - ③日本の食を守る
 - ④日本の農業を守る

2. 事業の目的

この事業は国産メンマの拡販だけでなく、国産メンマを通して CSR (企業の社会的責任) として5つの目標を掲げグループ全体で協力し取り組んで行く社会貢献プロジェクト事業です。

また各地の国産メンマ製造事業者と連携し、製造・品質の一元化と新商品の開発を進め、大手企業にも安心して取り組んでいただける体制を整える。

3. 5つ (T. S. G. J. N) 目標

T. 竹林整備

放置竹林の拡大は解決しなければならない大きな課題の一つです。そこでメンマの原料である幼竹を収穫・製造・販売することで竹林放置の解消＝竹林整備の対策を進めます。

- ①メンマの拡販
- ②筍水煮の代替えとしての拡販
- ③メンマ事業者の連携と将来の企業組合化の推進
- ④国産メンマの輸出

S. 障害者の支援・雇用拡大 (シルバー人材含む)

現在精神的な障害者は増加傾向にあり、その受け入れ施設や支援・雇用は社会の課題の一つです。

国産メンマの加工を障害者施設ですることによって障害者やシルバー人材の支援や雇用の拡大にもなります。

- ①雇用の拡大
- ②障害者施設の支援

G. ごみの削減・有効利用

ごみの削減は社会が抱える大きな課題の一つです。メンマの加工により皮の廃材（ごみ）は約 50%出るといわれています。そこでその廃材を粉碎し発酵させることで堆肥や土壌改良材に転用でき、実質廃棄（ごみ）ゼロとなります。竹に含まれる乳酸菌が土壌を活性化し、農作物の品質の向上など美味しい野菜の栽培に役立てることが出来ます。

- ① 筍の皮を利用した土壌改良剤の有効利用
- ② 幼竹の土壌改良剤を生産者へ給付

J. 国内の食料自給率の向上

日本の食料自給率の向上は大きな課題の一つです。メンマだけ見ても国内需要は約 3 万トンと言われておりますが、その内 99%は中国・台湾の輸入品です。筍の需要は約 17 万トンでその内 88%は中国等の輸入品です。

日本では筍は以前から慣れ親しんだ食材で色々な料理や食品にも使用されていましたが、昨今は価格高騰により高級食材化してしまい、収穫量・生産者・需要も減少傾向にあります。幼竹をメンマに転用することで国内食料自給率の向上や筍分野へ転用する事で需要拡大が期待できます。

- ① 国産メンマの拡販
- ② 国産筍水煮の拡販
- ③ 学校給食への提案

N. 農業従事者の支援

日本の農業従事者は減少傾向にあり、これも大きな課題の一つです。減少の要因の一つに農業従事者の収入の低さが大きいと言われております。そこで今まで廃材とざれていた幼竹を買い取ることで収入の補填や竹林の整備への取り組み強化と幼竹の廃材を堆肥や土壌改良剤に転用し農業従事者に供給することで少しでも支援につながればと思います。

- ① 筍生産者の収入アップ
- ② 竹林整備の整備
- ③ 生産者の支援と後継者の育成
- ④ 生産者への土壌改良剤の配布

4. 計画：2023 年度 15トン ・ 2024 年度 100トン

※日本のモウソウチクを新しい製法で製造したメンマは本場の台湾・中国産と遜色なくより日本人に合った商品に仕上がっております。このメンマを製造・販売することで5つの目標達成を目指し、社会貢献や販売企業や一般消費者にもエシカル消費への関心や協力を募っていければと思います。色々な思いを込めて作り上げた国産メンマを是非ご賞味ください。

5. 国産メンマで社会貢献プロジェクト事業参加事業者

- アプレ(有) メンマ原料および塩蔵加工指導
- (株)SALUTE メンマ原料および塩蔵加工指導
- (株)マスターズ関西 メンマの商品企画・開発指導
- YNコーポレーション(株) メンマの商品製造・販売管理指導
- 原料協力産地
福岡県糸島地区、福岡県北九州市合馬地区、福岡県豊前市地区、愛媛県四国中央市他
- 製造協力事業者
アプレ(有)、(株)SALUTE、(株)瑞穂・瑞穂農園、渡部興産(株)、カラ食品(株)
(株)サンフーズ
- 販売協力事業者
愛媛うまいもの販売(株)、(株)マルアイ食品、(株)フレッシュフーズ九州、嶋林食品センター(株)
- 販売実績
シヨクブン、けんこう応援団、美味しいもの市、萬栄グループ、成城石井、コープしこく、三越、オオゼキ、学校給食各地

5. 事業のシンボルマーク案 (日の丸の中に竹やプロジェクトを入れることで日本再生への願いも込めています。)



※この事業の趣旨をご理解いただきこの事業に参加や販売協力いただける企業の方は下記へご連絡をお願いいたします。

プロジェクトに関してのお問い合わせ先
株式会社マスターズ関西
担当者 仲井：携帯 090-1890-3897
YNコーポレーション株式会社
担当者 中田：携帯 090-6287-8083